

展示室 1 水彩画の魅力



J.M.W. ターナー  
「サン・ゴタル峠の下り道」

18 世紀から 19 世紀にかけて産業革命を成し遂げたイギリスでは、同時代に美術の分野の黄金期を迎えました。絵具や紙など、画材製造技術の改良、量産も追い風となって、イギリスでは水彩画が大きく発展しました。ターナー、ガーティンらの活躍は、それまで重要視されにくかった水彩画を、油彩画と同等の位置にまで高めました。

やがて、幕末から明治期に来日したイギリス人画家たちによって、日本においても水彩画の一大ブームがもたらされるのです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・ロバート・カズンズ	サヴォワ州、サランシュ附近のアルプス渓谷		水彩・紙
トマス・ローランドソン	北ウェールズ、カマーゼンの風景、教会へ向かう人々	1790 年代初頭	水彩・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798 頃	水彩・紙
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ピーター・デ・ウイント	ウィットビー		水彩・紙
デイヴィッド・コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩・紙
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
アルバート・グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙 佐藤克也氏寄贈
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889 頃	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋		グワッシュ・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815 頃	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868 - 84	油彩・キャンバス

展示室 2 人を描く



小出楯重「自画像」

画家はなぜ人を描くのでしょうか。自画像の場合、画家にとって一番身近なモデルが自分自身であるということもあるかもしれません。

強烈な自意識を感じさせる自画像もあれば、絵画の実験として、まるで自分を他人のように描いた絵もあります。

また、知人を描く場合や、依頼を受けて他人を描くという場合もあります。その場合、画家は本人ですら気づかなかった外見的特徴のみならず、内面まで描き出すことさえあります。

画家にとって人を描くということは、まさに描くこととは何かというあくなき探求なのかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
五姓田芳柳	六美人図 (一～六)		水彩・絹	
伊藤快彦	子供像		油彩・キャンバス	
原撫松	婦人像	1906 - 7( 明治 39 - 40) 頃	油彩・キャンバス	
有島生馬	少女	1908( 明治 41)	油彩・キャンバス	
木村荘八	祖母の顔	1916( 大正 5)	油彩・板	
黒田清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894( 明治 27)	油彩・キャンバス	
小出梢重	自画像	1918( 大正 7)	油彩・キャンバス	
里見勝蔵	軍人	1927( 昭和 2)	油彩・キャンバス	
横井弘三	子供		油彩・キャンバス	
吉田謙吉	婦人	1923( 大正 12)	油彩・キャンバス	
中山巍	赤ジレ座婦	1927( 昭和 2)	油彩・キャンバス	
内田巖	首飾りの女	1937( 昭和 12) 頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
今西中通	子供を抱く女	1943( 昭和 18) 頃	油彩・キャンバス	
中澤弘光	舞妓ノ一	1944( 昭和 19)	油彩・キャンバス	
伊原宇三郎	靴職人	1925 - 9( 大正 14 - 昭和 4) 頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
青津清喜	窓際	1950( 昭和 25)	油彩・キャンバス	
佐藤昭一	マフラーの自画像	1945( 昭和 20) 頃	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈

### 展示室 3 現代美術を楽しむ



クリスト  
「日本とアメリカ合衆国による共同計画  
アンブレラ (黄)」

何を表しているのか、なぜそのように表現したのか—不思議な作品を目の前にして、現代美術を苦手と感じている方も多いかもかもしれません。近代から現代にかけて、芸術家たちは独自の表現を模索し、美術は多様な広がりを見せました。

線、形態、色の配置、筆の運び、素材の使い方などに注目して、自由に想像し、作品をじっくり味わってみてください。作者の工夫が凝らされた様々な技法や素材には、それぞれ特徴的な良さがあり、そこから生まれる表現の豊かさを感じられることでしょう。

色彩やかたち、素材など、感覚に直接うったえかけてくるような表現のおもしろさを感じながら、自由な発想、視点で現代美術をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メソナイト
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード
バーバラ・ヘップワース	石柱 (バヴァーヌ)	1953	油彩・パネル
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話 (C 版)』より	1969 - 70	
	・湖		エッチング、アクアチント・紙
	・ラプンツェル		エッチング、アクアチント・紙
	・家		エッチング・紙
	・鐘楼		エッチング、アクアチント・紙
	・燃える二つの死体		エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
	・ガラスの山で何年もすごした王女		エッチング、アクアチント・紙
アントニー・ゴームリー	量子雲	2000	アニリン塗料・紙 (3 枚組)
アントニー・ゴームリー	領域 X III	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XX III	2000	ステンレス・スチール棒
クリスト	日本とアメリカ合衆国とによる共同計画 アンブレラ (黄)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、 エナメル塗料・紙
クリスト	日本とアメリカ合衆国とによる共同計画 アンブレラ (青)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、 エナメル塗料・紙
池田満寿夫	コラージュ	1968 (昭和 43)	コラージュ、グワッシュ・紙
鶴岡政男	ひとりぼっち		パステル、色鉛筆・紙
佐藤昭一	コンポジション	1959 (昭和 34)	油彩・キャンバス
難波田龍起	建物の構成	1954 (昭和 29)	油彩・キャンバス

## 展示室 4 ホイッスラーとその追隨者たち



J.A.M. ホイッスラー  
「ラルエット坊や」

ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー（1834-1903）はアメリカに生まれ、イギリスで活躍した19世紀を代表する画家です。ホイッスラーは20歳でエッチングという銅版画技法を学び、ロンドンの風景や都市部で働く人々などをテーマに数多くの版画作品を制作しました。幻想味あふれ、ジャポニスム（日本趣味）を取り入れた大胆な構図による独自の作風は、多くの人から称賛を浴び、ホイッスラーは銅版画での高い評価を確立しました。

今回は、ホイッスラーのほか、彼から影響を受けた画家たちの版画作品を併せてご覧いただきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858-9	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	グリニッジ公園	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ピリングズゲイト	1859	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	貧しき食事	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ヴィーナス	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	自由貿易波止場	1877	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	早朝	1878	リトチント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	渡し場 No.2	1880	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	聖ピアツジョ	1880	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	バルコニー、アムステルダム	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	吊り上げ橋、アムステルダム	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ピエロ	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	崩れかけた家屋		エッチング・紙
モーティマー・メンペス	新作芝居	1887頃	エッチング、ドライポイント・紙
ジョセフ・ベネル	パーク・ロウ	1904	エッチング・紙
ジョセフ・ベネル	ベッセマーへ向かって	1908	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング・紙
ミュアヘッド・ボーン	サンティ・アポストリ運河と橋、ヴェニス	1916-24	エッチング・紙
テオドル・ルーセル	門、チェルシー		エッチング・紙

## 展示室 4 新収蔵作品：佐藤潤四郎のデッサン



佐藤潤四郎  
「ガラスで作ろう」

郡山市出身のガラス工芸作家、佐藤潤四郎のデッサンは、ふんわりとした柔らかな線とにじみ特徴的です。旅の先々での何気ない人や風景は、潤四郎の温かな視線によって紙の上に移し替えられています。

彼がデザインしたものを形にするガラス職人たちの姿は、ガラスの神様として描かれています。そこには、職人たちへの深い愛情と感謝の気持ちが込められています。そして、それらすべてがまた、彼の創造の源になっていたのです。

今回は、平成26年度に収蔵した作品を中心に紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	窯場の朝（ルツボの中）		水彩・紙
佐藤潤四郎	白鳥とレダ		水彩・紙
佐藤潤四郎	タンブラーを吹く人の足元		水彩・紙
佐藤潤四郎	ガラスで作ろう		水彩・紙
佐藤潤四郎	ロンドンの屋根		水彩・紙
佐藤潤四郎	インド・一本の道		水彩・紙
佐藤潤四郎	インド・サリーの女		水彩・紙

大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈  
大方竜子氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	水指 (カットグラス)	1986 (昭和 61)	ガラス/型吹き・カット	
佐藤潤四郎	皿 (グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	三角一輪挿し (グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	四角一輪挿し (グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	ボウル (グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	タンブラー (スモークグラス) (2点組)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	アイスクリーム皿		ガラス/宙吹き	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	シュガーポット		ガラス/型吹き・金属	
佐藤潤四郎	植物文花器		金工	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972 (昭和 47) 頃	ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972 (昭和 47) 頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82 (昭和 55-57) 頃	ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎デザイン/カガミクリスタル制作	ウィスキーボトル「インペリアル」		ガラス/機械生産	サントリー株式会社提供
佐藤潤四郎デザイン/カガミクリスタル制作	「スーパーニッカ」手吹きボトル	1962 (昭和 37) 頃	ガラス/宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	魚 (オレンジ)	1973-76 (昭和 48-51) 頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚 (ブルー)	1973-76 (昭和 48-51) 頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	ガラス作業之図	1984 (昭和 49) 頃	墨・紙/扁額	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く 1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く 2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く 3		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く 4		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・比翼の鳥	1975 (昭和 50)	陶器	内藤雅夫ご夫妻寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡 1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡、五輪塔		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡 2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・天使		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人 (2点組)		金工 (鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車 (鍛鉄)		金工 (鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石彫	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡 1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡 2		陶器	大方竜子氏寄贈

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
● 1 階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ 9	1963( 昭和 38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958( 昭和 33)	セメント	
● 2 階展示ロビー				
三坂耿一郎	めわらべ	1974( 昭和 49)	ブロンズ	
北村四海	井冰鹿の娘	1917( 大正 6)	大理石	
柳原義達	女の首	1958( 昭和 33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952( 昭和 27)	ブロンズ	
佐藤静司	女の首	1971( 昭和 46)	木	
● 前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	